

八津・鎌足の記憶を 後生に伝えるプロジェクト

「 ころの錦（西木）～宝物～」

ロマン班：加藤・佐々木・大高・金萬

はじめに

西木と言われて連想するのは「かたくり」と「西明寺栗」。
しかし、これを現在に繋いできたのは「八津・鎌足の人」。

八津・鎌足で感じたことは、「笑顔と温かさ」・「地域の温もり」。
それこそが、**地域の「心」**。
本プロジェクトが、
地域住民の「心の繋ぎ役」になるように・・・
八津・鎌足らしさは・・・「地域に息づく心」

キーワード：「過去・現在・未来を繋ぐ」

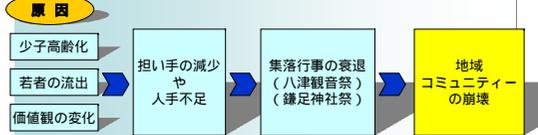
理念(大目標)

八津・鎌足に生まれ、
育ったことに誇りを持ち、

とき
時代を経ても変わることのない、
地域の**普遍的な価値（ころ）**を見出す。

八津・鎌足地域の課題

地域の伝統芸能や、行事に対する意識が
薄れてきている。(地域への愛着心離れ)



世代を超えて住民が一つにまとまる**ことが**
『地域社会』を維持していく上で**重要**。

企画の前提条件

1. 全住民が分け隔て無く関われること。
2. 生き方や生活、歴史に触れられること。
3. 後生にメッセージが込められていること。
4. 地域住民が「すること」の意義を感じられること。
5. プロセス重視の取り組みとなること。

……………を考慮する必要がある。
そこでロマン班が提案するのは

プロジェクトの企画内容

八津・鎌足地区の「記憶(写真)」を
一枚の象徴的なデザインに留め、

『過去・現在・未来』を繋ぐロマン溢れる
『モザイクアート』を制作する。

- 1 モザイクアートとは

大量の写真を使って、一枚の大きな絵に見立てるアート手法のひとつ。
近くで見たら単にたくさんの写真が並んでいるだけに見えますが、遠くから見ると一つの絵になっている。

掌に乗ったカメラリの写真

様々な写真の組み合わせ



赤枠を拡大すると

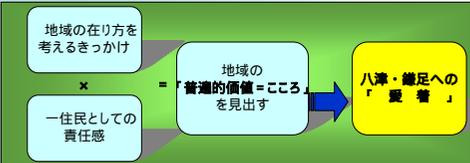
一枚一枚の写真から作られている

- 2 ねらい(効果)

『歩みよる』

各世代(時代)の写真を通じ、地域の暮らしに触れ、
地域の歩んできた歴史を学ぶ。

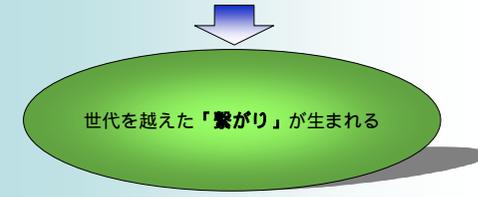
気付き・芽生え



- 2 ねらい(効果)

『つながる』

- ・完成までのプロセス(時間の共有)
- ・一つの物を作り上げたときの喜び(達成感の共有)



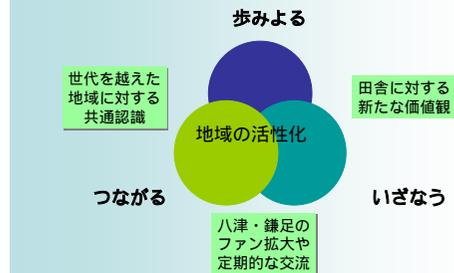
- 2 ねらい(効果)

『いざなう』

- ・写真の公募を地域内外から行う。
- テーマ「あなたの心の錦はなんですか？」の写真募集。



三つの効果が生みだすもの



モザイクアートの制作について

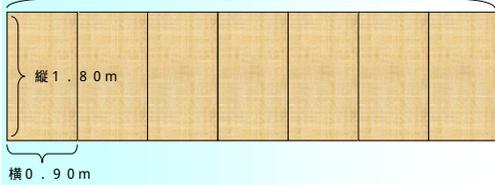
1. 制作期間 : 平成20年3月～10月24日
2. 完成披露 : 平成20年10月25日・26日
3. 展示場所 : かたくり館
4. 規格 : 縦1.80m × 横6.30m
5. 必要な物
 - ・写真1,000枚 (1戸当たり最低20枚 × 50戸)
 - ・ベニヤ板7枚 (縦1.80m × 横0.90m)
 - ・パソコン、スキャナー、カラープリンター、デジカメ、インクジェット
 - ・模造紙(ロール紙)、コピー用紙、はさみ、のり など

モザイクアートの制作について

6. 制作のイメージ

【キャンバス編】

ベニヤ板を縦に7枚並べ、模造紙を張りキャンバスを制作・下絵を描く。
横0.90m×7枚=6.30m

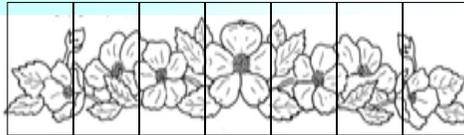


モザイクアートの制作について

6. 制作のイメージ

【下絵編】

- ・キャンバスに貼り付けた模造紙に下絵を描く。
- ・7枚のキャンバスは、7班体制で分担作業する。



モザイクアートの制作について

6. 制作のイメージ

【写真貼付け編】

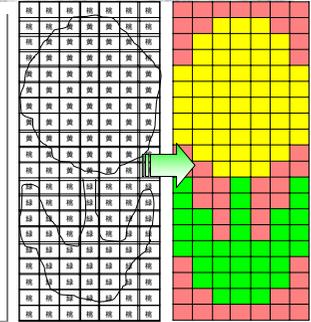
模造紙に写真大の格子状の枠を書き込む。

下絵(原画)を描く。

原画の色を格子状の枠中に書き込む(配色)。

原画の色に合った写真を貼り付けていく。

7枚のキャンバスを一つに繋げて完成。



モザイクアートの制作について

7. 主な作業と役割分担

NO	作業内容	担当
	住民からデザインをアンケート募集	モザイクアート実行委員
	デザインの募集・制作(3点)	住民・活力人
	3点から原画を決定	モザイクアート実行委員
	モザイクアートの下絵制作	実行委員・活力人
	写真の収集と、ネットでの一般公募	実行委員・活力人
	写真のカラーコピー・カット・色分け	住民・活力人
	写真の貼り付け	住民・活力人
	完成披露パーティーの企画・実施	実行委員・活力人
	展示・お披露目	モザイクアート実行委員
	制作過程の記録と掲載写真のアルバム作成	活力人

モザイクアート実行委員とは、各種依頼や班毎の作業等を中心となって行う人で、住民から14人を選出。(一班2人体制で、7班編制)

モザイクアートの制作について

8. タイムスケジュール

作業区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
デザイン募集	■						
原画制作		■					
原画決定			■				
下絵制作			■	■			
写真収集		■	■	■			
写真加工		■	■	■			
写真貼付				■	■	■	
完成披露							■
一般公開							■
過程記録	■	■	■	■	■	■	■

材料・経費

項目	内容	単価	数量	金額	備考
消耗品	角材・ベニヤ板		一式	25,000	キャンバス
	インク(5色)	5,000	10個	50,000	
	用紙 A4 30枚×3束/箱	@ 2,500	2箱	5,000	5,000枚
	ロール紙 A0 150m	@ 6,500	1箱	6,500	
	のり	@ 150	30本	3,500	
	計			100,000	



ご清聴ありがとうございました。